

ひとがいて、ことばが聞こえる：相原流エッセイ第二弾：『雨がホワホワ：中国語のある風景』相原茂著

中里見，敬
九州大学大学院言語文化研究院：助教授：中国文学

<https://hdl.handle.net/2324/6509>

出版情報：東方. 255, pp.24-27, 2002-05-05. 東方書店
バージョン：
権利関係：

ひとがいて、ことばが聞こえる

相原流エッセイ第二弾

中里見 敬

教師 きょうは相原先生の新聞エッセイ集を持ってきたよ。

学生 A 相原先生って、あの文字なぞの您三郎でしょう。

教師 君、テレビの中国語会話をみているね。けっこう、けっこう。なぞなぞと人まねだけではなく、相原先生は日本を代表する中国語学者なんだよ。

学生 A テレビではゲストの方がめだつて、相原先生は何もしていないように見えるけど。

教師 テレビ講座のテキストを見たことあるかい。もちろんあれは相原先生が執筆したんだよ。「声調貳号は語る」や「こほれ中級」は、ゲストが楽しく演じているように見えるけど、実は中国語の研究成果をふんだんに盛り込んであるんだ。例えば、このまえ「別」了」構文をやっ

ていたけど、見た人いるかい。

学生 B はい。「別哭了」や「別唱了」はいますでに泣いたり歌っているのを、泣かないで、歌わないで、というのに対して、「別了」はまだ忘れてないことを、忘れないでね、という意味になるって、相原先生が言っていました。

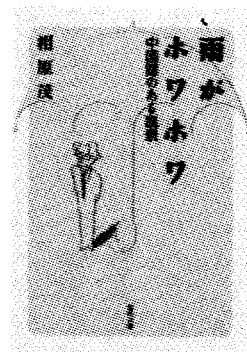
教師 そのとおり。同じ「別」了」という形式でも、動詞の意味によって、二つのグループに分類できる。しかもストレスのおきかたの違いが、その異なる意味グループに対応する。「別哭了」「別唱了」では「別」を強く言い、「別了」では「忘」にストレスをおく。つまり、意味論上の差異とストレス・パターンが対応しているわけだ。

学生 B そう言われると、文法の世界って、なかなかおもしろそうですね。

相原茂著

雨がホワホワ

— 中国語のある風景



四六判 286頁
現代書館 [2000円]

教師 そうだろう。君は宇宙物理の専攻だったね。宇宙の現象を数式で表すのと同じように、言語をこのようにエレガントに記述することが、言語学者の仕事なんだよ。相原先生のテレビ講座やエッセイでは、一見すると何でもないような中国語表現の裏に隠された意外な真実、それが実にきれいに整理されて提示される。古畑任三郎シリーズの推理とも相通じる、文法研究の醍醐味といえるね。

学生 A それじゃあ、どうして先生は授業であまり文法の話をしてくれないの。

教師 私の一年生の授業では、まず習うより慣れろで、たくさん練習する方針なんだ。教科書で「別客気」が出てきたときに、みんなの知っているいろいろな動

(新刊・話題の書)

風水の社会人類学

中国とその周辺比較

渡邊欣雄著 人類学・歴史学の最新の成果を踏まえた風水研究の到達点。多様な相貌の奥にある東アジア的「気」の認識論・存在論を明かした画期的論考。A 5 / 8000円

現代東南中国の漢族社会

閩南農村の宗族組織とその変容

潘宏立著 躍進する福建省農村に復興著しい宗族制度や祖先祭祀。現代中国の新たな社会組織形成の論理を探る力作。A 5 / 7400円

明代中国の疑獄事件

藍玉の獄と連座の人々

川越泰博著 従来功臣や官僚排除のためとされてきた事件を捉え直し、洪武帝が真に意図したものは何かを探究する。四六 / 3000円

道教関係文献総覧

石田憲司主編 100年余にわたる邦文文献を網羅。文学・本草・風水などの関連分野、少数民族や沖縄・東南アジアなど周辺地域も含む初の総合目録。付索引。A 5 / 12000円

東アジアにおける文化の多中心性

三尾裕子・本田洋編 変容著しい民俗社会を、中国文明との関係性と独自性の観点から、様々な地域事例をもとに考察。A 5 / 3000円

リン家の人々

台湾農村の家庭生活

M・ウルフ著・中生勝美訳 伝統的大家族の中で暮らした女性研究者の見た親族・宗教・性……。中国社会の最上の入門書。四六 / 2500円

風響社

〒114-0014 東京都北区田端 4-14-9

TEL: 03-3828-9249 (定価税別)

URL: <http://www.fukyo.co.jp>

詞を入れてドリル練習をしたのを覚えて
いるかい。

学生 A 「別吃」、「別去」、「別睡」……。

教師 そういう表現がまず自然に使える
ことが大事なんだよ。そのうえでテレビ
講座を見たり、相原先生のエッセイを読
んでみると、発見の驚きと喜びも大きく
なると思うよ。中国語教師の立場でテレ
ビ講座を見ると、相原先生が文法の高度
な知識を「動動脳筋」というクイズ・コ
ーナーでやさしく紹介しているのには本
当に感心するなあ。

学生 A 先生もクイズ形式で文法を教え
てよ。

教師 ……。あれは相原先生一流の学識
と遊び心があつてはじめてできることな

んだよ。そんなに簡単に言わないでくれ
よ。

*

学生 B ところで、『雨がホワホワ』とい
う書名ですけど……。

教師 これを聞いて、どう思った。

学生 B 「ホワホワ」って、なんだかやわ
らかそうな、暖かそうな、ふわふわした
感じ。でも、雨がホワホワって、どうい
うことかなって、不思議に思いました。

教師 そうだね。日本語の中で「ホワホ
ワ」はそんな感じがするけれど、中国語
で「ホワホワ」と言うと、水がザアザア
流れる擬音語になるんだよ。

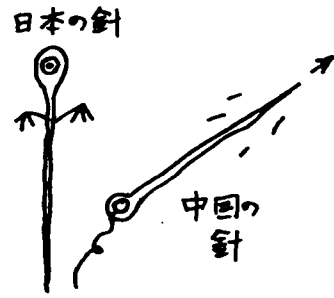
学生 A ということは、この本は「雨が
しとしと」ではなくて、「雨がザアザア」

ってことか。

教師 そういうことになるね。私たちの
素朴な言語感覚として、擬音語や擬態語
はその音や様子をありのままに表現した
音だと思いがちだけど、日本語の「雨が
ザアザア」が、中国語では「雨がホワホ
ワ」になるように、ことばの意味と音の
関係は、擬音語でさえ必然的なものでは
ないんだ。

学生 B 犬が吠えるのを、日本語では「ワ
ンワン」、英語では「バウバウ」と言うの
も、同じ理屈ですね。

教師 これをソシユールという言語学者
は、意味内容と音声表現の結びつきは恣
意的だ、と定義したんだ。私たちはとり
わけ母語に対しては、この両者の結びつ



「頭はどっちだ」
(84頁より)

きがありのままだと感じているけれど、実はその逆で恣意的なこと。ソシユールは別に、意味内容と音声表現の結びつきは動機づけを欠いている(無縁的)、とも言っている。

学生A ちよつと先生、相原先生のエッセイって、そんな難しいことが書いてあるの。

教師 失礼失礼。書名にもなった「雨がホワホワ」というエッセイは、留学生から聞いた体験談として紹介され、擬音語の話題へと展開していき、「私はなぜか、この『雨がホワホワ』が好きだ」で締めくくられる、わずかに二ページのエッセイ、二分間で読ましてしまうよ。その中に、「日本語の『ザアザア、ガラガラ、グウグウ』の『ザ』や『ガ』や『グ』が」中国語で

は「柔らかなh音で表されている」とか、「擬音語の声調は第一声で言っておけばまず間違いない」といった簡潔に要所をついた指摘がある。楽しく読めて、しかも勉強にもなるんだ。

学生B 書名も魅力的ですけど、本の装丁もすてきですね。

教師 よく気がついたね。ページの空白を埋めているかわいいたカット、これ全部、相原先生が描いたんだよ。『午後の中国語』(同学社、一九九〇年)という第一エッセイ集では、装丁で賞をもらっているほどなんだ。「頭はどっちだ」というエッセイは、日本と中国とで針の頭が逆になることが紹介されていて、これ自体、認知に関わる興味深い現象なんだけど、ほら(八四ページ)を見せながら、この相原先生のお茶目な挿し絵がとってもいいだろう。

学生B 相原先生って本当に多芸多才なんですね。

教師 それ、中国語では順序が入れ替わって、「多才多芸」だね。

*

学生A 相原先生のことだから、なぞな

ぞの話もいっぱいあるんでしょう。

教師 なぞなぞなら、相原先生には『中国語なぞなぞの本』(東方書店、一九九〇年)、『中国語なぞなぞの本2』(東方書店、一九九一年)という本があるよ。ポケット・サイズだから、通学の電車の中で毎日、中国語のなぞなぞを解くつてのはどうだい。そういえば、私が留学中、中国の先生のお宅へお邪魔すると、子供が次々と私になぞなぞを言うのには参ったよ。まずなかなか問題が聞き取れない、聞き取れてもなぞが解けない。なぞなぞはものごとの見方を映しているから、中国語の感覚を身につけるにはもってこいだと思うよ。子供がなぞなぞに夢中になる時期があるだろう。もしかすると、子供の言語能力が具象の世界から抽象の世界へと飛躍する時期と重なるのかもしれないね。なぞなぞで君たちの中国語も飛躍、といけばいいね。『雨がホワホワ』の中にも、「中国のなぞなぞ」や「中国語の駄洒落」といった、君が好きそうなエッセイがたくさん含まれているよ。

学生A 相原先生はなぞなぞだけじゃな

くて、駄洒落も好きなんだ。

教師 そのようだね。「上海自来水来自海上」のような回文という言語遊戯なども紹介されていて、話題が堅苦しくないのがいいね。もう一つ、「○の意味論」のように、ことば以下というか以前というか、○のような符号も、日本と中国とでは意味が異なるのもおもしろいね。

*

学生B 私、今度、中国での語学研修に参加しようと思うんですけど、中国語の勉強のコツのようなことも書いてあるんですか。

教師 相原先生の本はどれも、読むと不思議に中国語を勉強しようという気にさせられるんだよ。きつとそれは相原先生が自分の勉強のしかたを惜しみなく、そして押しつけがましくないかたちで紹介しているからだろうね。この本では「相原式中国語に触れるメニュー」なんてのが紹介されているよ。相原先生には、その名もズバリ『中国語の学び方』（東方書店、一九九九年）という本があるから、まずこちらから読んでみるのもいいね。『午

後の中国語』にも、「教・学・ヒント集」という章があって、役に立つこと請け合

いだよ。ところで、春休みの語学研修かい。それは楽しみだね。私が中国語を習い始めた二〇年前は、中国が開放されてまだ間もなく、そんなに気軽に語学研修には行けなかったから、君たちは恵まれているなあ。いまはインターネットで中国の新聞や雑誌も簡単に読めるし、インターネット・ラジオに接続すればいつでも中国語の放送が聞けるでしょう。でも私が『雨がホワホワ』を読んで一番うれしかったのは、相原先生のまわりにはいつも中国語を話す人がたくさんいて、おしゃべりを楽しんでいること。このエッセイ集からも、相原先生と仲間たちの笑い声が聞こえてきそう。外国語の勉強なんて、そもそもそんなにおもしろいものではないけれど、外国語を使ってみることは楽しいことだよ。ひとりパソコンに向かうより、やっぱり中国人と話してみるのが楽しいんじゃないかな。

学生A そういえば僕、このまえティーチング・アシスタントのJさんと偶然同

じバスに乗り合わせたので、習ったばかりの「你喜歡吃日本菜還是中国菜？」って聞いてみたら、ちゃんと通じたのでうれしかったなあ。

教師 それでJさんはどっちが好きだった。

学生A それが……。中華料理の方が好きって言ったみたいだけど、また「還是」とか言ってたのでよくわからなかった。

教師 それでいいんだよ。「中国菜」が聞き取れれば、それで対話は成立するだろう。たぶんJさんは「還是喜歡吃中国菜。」って言ったのだろうね。いまのうちに「還是」を辞書で引いておくと、きつとこの二つの「還是」の用法がJさんの顔とだぶって、すっかり覚えられると思うよ。それはともかく、中国の人と食べ物のお話をするなんて君も一人前だな。相原先生のエッセイにも食事の話題が非常に多いんだ。中国の人が好む話題、中国人とのつきあいかた、相原流中国語エッセイはそんなことまで自然に学べるようになってるんだよ。

(九州大学)

東方 255 号



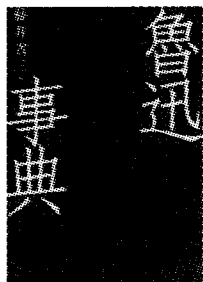
CONTENTS

[表紙：都司空瓦]

- 中国産トリカブトとその研究……………門田裕一 2
- 天津二題『天津図書館館蔵顧維鈞西文図書
分類目録』紹介と天津監獄移転……………高見澤磨 9
- 京都での講学……………湯志鈞 14
——島田虔次先生を追悼する(下)……………(岩井茂樹訳)
- 甦る大陸漢族の土神たち(7)……………濱島敦俊 18
- 類義語のニュアンス⑬⑤……………荒川清秀 20
- 辞書工房から③⑧……………甲斐勝二 21
- 中国の性愛文献(61)……………土屋英明 22
『食色紳言』

連
載

Book Review



(↑P40)

- ひとがいて、ことばが聞こえる……………中里見敬 24
相原流エッセイ第二弾
『雨がホワホワ』
- 二つの台湾女性史研究……………河原 功 28
『植民地台湾の日本女性生活史』昭和篇 上・下
『近代台湾女性史』
- 『山海経』図の本格的な研究……………伊藤清司 32
『古本山海経図説』
- 宋代法政史研究の新たなる基本書……………川村 康 36
『宋代法制初探』
- 販書随録……………41
- Book Information on China No.305……………64



平金龍箭衣

単雄信(中国京劇服装図譜より)